

第1回 学校評議員会、学校関係者評価委員会でいただいたご意見

★ご意見

- ・学力調査の状況を聞いて、先生方の日頃の努力がよく分かった。子供たちが分かりきるまで指導をして下さっているということ。より一層の指導をお願いしたい。
- ・質問紙の結果では、それぞれの教科の学習が好きと答えた児童が100%で、とてもよいと思うが、「教科が好き」と「〇〇(の授業)が楽しい」とは、少し異なると思う。児童が(授業が)楽しいと思えるように考えてほしい。
- ・あいさつ運動が徹底している。朝、畑で仕事をしていても大きな声で挨拶してくれる。挨拶がきちんとできることは大事なことだ。
- ・働き方改革で、先生たちの勤務時間が多いということは、(裏を返せば)それだけ、子供たちのために努力していることになる。しかし、体を壊しては本末転倒である。健康に気を付けてほしい。

★質疑応答

・6年生は、社会と理科が県平均を下回っている。どうしてか。学校の勉強だけでは足りないのか？

⇒理科と社会は、石川県が作成している学力調査であり、石川県の児童の弱い部分を分析し問題にしている。社会については、3年生は津幡町のこと、4年生では石川県のこと、5年生では日本の地形や工業について学習するため、学年ごとに学習内容が異なり、忘れてしまい定着しづらい傾向がある。また、理科も同様で、その単元はその学年でしか学習しないという内容もあり、定着しづらいことが(県平均を下回る)理由に挙げられる。校長が申したように、書く力が課題となっており、複数の資料から読み取り、まとめて書く問題が弱いことも挙げられる。今年度も自校の結果を分析し、一人一人の弱みに応じて、補充するよう取り組んでいる。

・タブレットについてはどうか。

⇒タブレットを活用した効果的な授業を行うために、職員は日々研修を行い、教材研究をしている。